

ながの四季の彩りキャンペーン

茶臼山フェスティバル2012

開催日：6月10日(日) 開催場所：茶臼山恐竜公園

六月一日(日)に茶臼山恐竜公園にて「茶臼山フェスティバル2012」を開催いたしました。今回で二回目の開催となり、早朝から雲行きが不安な中ではありましたが、小林実行委員長の思いが届き開催時間には天候が回復し無事開催することが出来ました。朝の天候にもかかわらず、早くから多くの来場者が訪れ、不安を払拭する賑わいを見せました。恐竜スタンプラリー受付では、早くから長蛇の列を作り、今か今かと開始を待ちわびる子供たちの顔が印象的でした。オープニングセレモニーでは、先着100名の子供たちに風船をリリースし、開会の合図とともに一斉に風船を舞い上げました。



かき氷ブースにおいては、午前、午後と200食に分け来場者に振舞いました。午前中は予定していた200食をオーバーしてしまいうアキシメントもあり、わずか30分ほどで終了してしまったりと、予想以上の混雑を見せました。午後の振る舞い時間には長蛇の列ができ、整理券代わりには紙コップ渡し、かき氷の振る舞いを行いました。



恐竜流しそうめんでは、50メートルの長さの流しそうめんを設置し、来場者に振舞いました。二時間待ちになるほど多くの方に流しそうめんを食べていただき、用意していた100人分すべて完食いたしました。

恐竜スタンプラリーでは、朝から多くの方に参加いただき、4つのスタンプポイントでスタンプを押してきていただき、先着500名に茶臼山動物園のレッサーパンダのクリアファイルをプレゼントしました。また、抽選で3名にニンテンドー3DSが当たる応募を行い、応募用紙に茶臼山フェスティバル2012の感想を書いていただき、思いのコメントを入れていただきました。その他でも色々な催しが行われ、大変賑わいを見せた一日となりました。



茶臼山フェスティバル2012は、二で南長野地域を印象づける事ができ、地域の活性化に繋がる(公社)南長野青年会議所の運動を広くアピールできる事業の開催となりました。朝から多くの方に参加いただき、4つのスタンプポイントでスタンプを押してきていただき、先着500名に茶臼山動物園のレッサーパンダのクリアファイルをプレゼントしました。また、抽選で3名にニンテンドー3DSが当たる応募を行い、応募用紙に茶臼山フェスティバル2012の感想を書いていただき、思いのコメントを入れていただきました。その他でも色々な催しが行われ、大変賑わいを見せた一日となりました。



茶臼山フェスティバル2012実行委員長 小林 敏明
六月一日(日)に茶臼山恐竜公園に於きまして「茶臼山フェスティバル2012」を開催致しました。昨年五月に、篠ノ井イヤー実行委員会の皆様と共催で第一回目となる「茶臼山フェスティバル 恐竜だヨー全員集合」が開催され、大変多くの一般市民の方で賑わいました。本年は(公社)南長野青年会議所主催の全体事業として昨年に引き続き開催する事により、更に多くの方々に当会議所の原点である茶臼山、そして南長野地域を印象づける事ができ、地域の活性化に繋がる当会議所の運動を広くアピールできると考え、本事業を実施致しました。当日は前日からの雨が早朝まで残り開催が危がまれましたが、オープニングセレモニーには皆の想いが届き晴れ間も射し多くの来場者の方々とお100個のバールンリリース、祝砲で盛大に幕を開ける事ができました。当会議所で企画致しました恐竜スタンプラリーでは、恐竜公園内を広く回って頂く事でお子様より「たくさん恐竜を見る事ができて名前を覚えられた。」親御様より「大自然の中、とても良い運動になった。」等の感想が多く寄せられました。また、一千食分を用意致しました50メートルの恐竜流しそうめんでは「初めて体験しました。」とても楽しくて、美味しかったです。」等の感想を頂きま



2012年度
スローガン

JCI
http://mnjc.jp/

2012年度

社公
団法人益
南長野青年会議所

Step
by
step

心が豊かなまちづくりへ
そして創造しよう
未来のJAYCEEを

Junior Chamber International Minaminagano
社公
団法人益
南長野青年会議所



今しか会えない仲間がいる
今しかできないことがある

会員募集コーナー！

南長野青年会議所は、
新しい仲間を
募集しております！

お問い合わせ先
南長野青年会議所事務局
TEL: 026-292-2310
E-mail: minaminaganojci@mtg.biglobe.ne.jp

会員拡大
必達25名



わんぱく相撲は、一九八五年よりわんぱく相撲全国大会が開催され現在に至ります。私達(公社)南長野青年会議所も第一回の大会より共に歩み、今年で二八回目の地区予選長野場所を開催するに至りました。我々南長野青年会議所のわんぱく相撲は先輩諸兄が茶臼山で自ら土俵を作り、まさに青少年育成への情熱から始まった事と容易に想像出来ます。しかしながら、少子化が進み年々参加人数は減少し、そして一年一年新たな考え方が生まれるJCIの体質と伝統を重んじる国技の融合は想像以上に摩擦を生み、我々南長野青年会議所は一年近くの間、このわんぱく相撲の事業の第一線から遠ざかっていました。その間、子どもたちの両国国技館への夢と道を断つてはいけないという思いから当時の南長野青年会議所のシニアメンバーの有志と、それまでわんぱく相撲長野場所に携わってきた保護者父兄や関係諸団体の方々が一体となり、今までわんぱく相撲長野場所を支えられてきました。まさに地域の大人たちが一体となり作り



わんぱく相撲は、一九八五年よりわんぱく相撲全国大会が開催され現在に至ります。私達(公社)南長野青年会議所も第一回の大会より共に歩み、今年で二八回目の地区予選長野場所を開催するに至りました。我々南長野青年会議所のわんぱく相撲は先輩諸兄が茶臼山で自ら土俵を作り、まさに青少年育成への情熱から始まった事と容易に想像出来ます。しかしながら、少子化が進み年々参加人数は減少し、そして一年一年新たな考え方が生まれるJCIの体質と伝統を重んじる国技の融合は想像以上に摩擦を生み、我々南長野青年会議所は一年近くの間、このわんぱく相撲の事業の第一線から遠ざかっていました。その間、子どもたちの両国国技館への夢と道を断つてはいけないという思いから当時の南長野青年会議所のシニアメンバーの有志と、それまでわんぱく相撲長野場所に携わってきた保護者父兄や関係諸団体の方々が一体となり、今までわんぱく相撲長野場所を支えられてきました。まさに地域の大人たちが一体となり作り

五月二〇日(日)に南長野運動公園内相撲場にて第二八回わんぱく相撲長野場所が開催されました。今回のわんぱく相撲は、(公社)南長野青年会議所が主体となって運営していく中で他の関係諸団体やわんぱく相撲に参加されるお子さんの親御さん達など様々な方に支えられながらの開催であり、おかげ様で大勢の応援の中で、日本の国技である相撲を通して多くの子ども達が一生懸命生き生きと取り組んでお



第28回わんぱく相撲長野場所結果

参加者：124名

横綱			
1年生	原 壮吾くん (下水鉤)	2年生	北村 優太くん (大豆島)
3年生	諏訪 秀人くん (大豆島)	4年生	浦野 翔くん (下水鉤)
5年生	丸山 航汰くん (城 山)	6年生	石坂 亘平くん (城 山)
大関			
1年生	堀内 和央くん (下水鉤)	2年生	柳澤 健太くん (下水鉤)
3年生	竹内鼓太郎くん (綿 内)	4年生	渡辺 深叶くん (屋 代)
5年生	牧 晴樹くん (大豆島)	6年生	児玉 天悟くん (大豆島)
関脇			
1年生	太田 翔斗くん (南 部)	小山 純ノ介くん (下水鉤)	
2年生	小林 大起くん (大豆島)	北澤姫羅理ちゃん (下水鉤)	
3年生	石崎 祐希くん (大豆島)	西尾飛鳥斗くん (下水鉤)	
4年生	黒岩 歩夢ちゃん (大豆島)	高橋 亨介くん (下水鉤)	
5年生	梶川 皓汰くん (大豆島)	原 圭佑くん (下水鉤)	
6年生	丸山 啓太くん (大豆島)	山崎 斗也くん (大豆島)	
団体戦			
1位	長野市少年相撲クラブ	2位	城山小学校Aチーム
3位	下水鉤小学校Aチーム	4位	大豆島小学校Bチーム

第二八回わんぱく相撲長野場所実行委員長 丸山 正紀

二〇一二年度は、南長野地域の美化を目的に、一月から二月までの期間、担当委員会とひと月一度のスケジュールで南長野ごみゼロ化計画を実施しております。一月は、社会開発委員会主催で実施する予定でしたが積雪のため、二月に合同でのごみ拾いの実施となりました。二月は、南長野の誇り創造委員会主催で「川中島西友く今井駅周辺のごみ拾いを実施し、合同実施の社会開発委員会、(篠ノ井駅前通り周辺)のごみ拾いを実施し

三月は、会員指導力委員会主催で「八幡原古戦場・松代大橋周辺」のごみ拾いを実施しました。四月は、総務委員会主催で、「南長野運動公園周辺」のごみ拾いを実施しました。五月は、国際交流委員会主催で、「篠ノ井駅・瀬原田周辺」のごみ拾いを実施しました。今後、六月以降もごみゼロ化計画を実施し、地域の美化に努めてまいりたいと思います。



編集後記

JCIに入会して半年が経ちました。新人ではありませんが、自分が生まれ育ったこの郷土を盛り上げていく活動に参加できていることは大変意義深く感じています。何気なく過ごしていたら、ただ自分さえ良ければいいという考えに陥り、己を離れられず利己主義になっていたかもしれません。自分の子どもだけ良ければいいとか、自社の売り上げが伸びればいいとか、自分、自分。『ありがとう』とかけられるその一言が、とても充実した時間を私に与えてくれました。JCIの活動にはそんな時間があります。笑顔があり、感謝の気持ちがあり、人と人とのふれあいがありました。今を精一杯に生きる。仲間をつづじて笑顔の輪がひろがっていくことを願います。総務委員会 池田 直哉

公益社団法人 南長野青年会議所

〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL: 026-292-2310 FAX: 026-293-5709

発行元：総務委員会

編集長：池田 直哉

印刷所：有限会社サクセス

E-mail: minaminaganojci@mtg.biglobe.ne.jp

ホームページ更新中!是非ご覧下さい!!

南長野青年会議所 検索

http://mnjc.jp

かがり火のバックナンバーはホームページをご覧ください。

第28回 わんぱく相撲長野場所
委員会事業
5月20日(日) 南長野運動公園 相撲場
企画担当 ■ 青少年委員会

委員会事業
2012年度 南長野ごみゼロ化計画
1月～5月 実施場所：南長野地域
企画担当 ■ 社会開発委員会

2月例会

2月16日(木) 篠ノ井商工会議所 篠ノ井支所 2Fホールにて二月例会

会員拡大「必達25名」への道

企画担当 ■ 会員指導力委員会

二月一六日(木)一九時から篠ノ井商工会議所 篠ノ井支所 2Fホールにて二月例会。会員拡大「必達二五名」への道が開催されました。今年の目標は二五名入会というところで今のLOMの現状分析から始まりチーム・グループ割り、本年度の会員拡大の手法を聞き、会員拡大の必要性をメンバーで再確認しました。また最後に関係委員長の意気込みを聞き、理事長より大号令が発せられメンバー一丸となつての会員拡大が始まりました。



関 裕司

本年は、会員拡大「必達二五名」を掲げ、全体事業としてスタートを切りました。その上で、会員全メンバーが一つの目標に突き進むための決起集会として二月例会 会員拡大「必達二五名」への道を開催いたしました。

日本JIC、南長野JICの歴史や傾向を比較、検証しまして、本年の会員拡大の手法を説明したことで「道筋」を示すことができたのではないかと感じています。

そして、理事長の大号令と共に会員拡大のスタートを切ることが出来ました。また、委員長のまとめとして、私の決意表明と熱い想いをメンバーに発信し、メンバーにその想いが伝わったのではないだろうかと思っています。そして何よりもメンバーの会員拡大への意識もあり、多くのメンバーの出席していただきました。本当にありがとうございます。



2012年度 会員指導力委員会 委員長 関 裕司

4月例会

4月15日(日) 南長野運動公園(沿道付近)

外国人とのふれあい体験

企画担当 ■ 国際交流委員会

四月一五日(日)に第一回南長野マラソン大会のフィニッシュ会場である南長野運動公園敷地内に四月例会「外国人とのふれあい体験」を開催しました。

本事業は、一般市民の方達(特に子ども達)と外国人が共に応援グッズを作りランナーを応援することでのふれあい体験を通して、今後の国際交流に繋げてもらうようにと実施致しました。

当日は晴天にも恵まれ総勢二三人の外国人がボランティアとして協力いただきました。家族連れの方や小中学生の子ども達が外国人とふれあうことが出来、場は国際色豊かな雰囲気となりました。

実施内容として、身近なもので手軽に作れる応援用の楽器作りを体験し、同テーブルに外国人が混ざり、国際交流を深めながら南長野マラソン応援グッズを作成しました。また作った楽器でマラソン選手への応援を行うため、沿道に出て通過する選手の方に向けて応援をいたしました。



その後は、メッセージボードに、今回の体験の感想や外国人の印象、または思いのメッセージを記入していただき、大きな世界地図になるメッセージボードを作成いたしました。

本事業の結果として参加募集一六〇名に対して約半数の参加で終わってしまいました。が、子ども達や外国人が笑顔で楽しそうに参加している姿を見て、今後に繋がる何かを感じてもらえたと思えます。

最後に世界地図のメッセージボードで集合写真を撮り、外国人の方との交流を更に深めることが出来ました。

作成したメッセージボードは、南長野運動公園のオリエンティックスタジアム内のエントランスにて展示させていただきました。一月の南長野フェスティバルでも展示する予定ですが、それまで当所にて展示させていただきます。是非、南長野運動公園にご来場された際にはご覧戴きたいと思います。



委員長所感

下城 聖一郎

本事業は、未来ある子ども達に今後の国際交流へのきっかけづくりにつながるように、外国人と一緒に応援グッズをつくりマラソンランナーを応援するという事業でした。また、オリエンティックスタジアムでの開催が、南長野運動公園のオリエンティックスタジアム内のエントランスにて展示させていただきます。一月の南長野フェスティバルでも展示する予定ですが、それまで当所にて展示させていただきます。是非、南長野運動公園にご来場された際にはご覧戴きたいと思います。



2012年度 国際交流委員会 委員長 下城 聖一郎

3月例会

3月17日(土) 長野県若里公園 メインアプローチ

レッツ!! 献血!

企画担当 ■ 社会開発委員会

三月一七日(土)に長野県若里公園のメインアプローチにて三月例会「レッツ!! 献血!!」血液を通して人と人を結ぶキャンペーン」を開催いたしました。当日は、朝から悪天候というコンディションの中のスタートとなりましたが、午前中から多くの方の献血者のご協力をいただくことが出来ました。

本事業の実施は、南長野青年会議所メンバーの献血を行うことはもちろんのこと、周囲の方々に呼びかけを行い献血の協力をお願いするというのも事業の一環として行いました。

実施場所を選んだ長野県若里公園は、周囲にホクト文化ホールや長野県図書館などの公共施設があり、また、園内は、見通しのいい場所での献血実施であつたため、雨という悪天候ではありましたが、多くの方に献血を行っていただくPRが出来ました。



【結果報告】

受付者数:	68名
献血者数:	57名
(内訳)	
400mL	献血者数: 50名
200mL	献血者数: 7名

早朝の長野県赤十字血液センター様のご挨拶では、昨今の献血率は、今のところ一定量の血液の確保は保てていますが、若年層の方の献血率が上がらず、近い将来の献血率の低減を危惧されておりました。今回の一般の献血率は、年配層、若年層とも半々であったと感じましたが、今後もう少し活動を行う際には、若年層に向けたPRを重視した呼び掛けも必要であると感じました。最後に、本事業により、献血にの協力をお願いできました皆様大変感謝申し上げます。



委員長所感

水口 英徹

三月例会「レッツ!! 献血!!」血液を通して人と人を結ぶキャンペーン」にご参加いただき誠にありがとうございます。

悪天候の中のスタートとなった本事業でしたが、それは裏腹に多くの方に献血のご協力いただくことができ、ただ「感謝」の一言でありました。改めて、皆様の献血に対する意識の高さを感じた事業でした。今後も継続して献血の呼び掛けが出来よう努めて参りたいと思います。本当にありがとうございます。



2012年度 社会開発委員会 委員長 水口 英徹

5月例会

5月27日(日) 長野市茶臼山動物園

茶臼山動物園親子写生大会

企画担当 ■ 青少年委員会

五月二七日(日)に茶臼山動物園にてスローライフ! 茶臼山動物園親子写生大会を開催致しました。

この事業は親子で参加して頂き、パソコン等の情報機器の普及により希薄になりつつある親子でのコミュニケーションを楽しくって頂き絆を深めてもらう事を目的とし実施いたしました。

事業内容として、子供たちは茶臼山動物園内の動物の写生を行い、また、親御さんは、その写生している子供たちの表情を描いていただくという内容で実施し、親子間でのコミュニケーションが取れた貴重な時間となりました。

当日は晴天にも恵まれ親子合わせて一三〇人もの方々に参加頂きました。それぞれの親子が普段とは違ったコミュニケーションで楽しんでいる様子が見られました。楽しいひと時を過ごされていました。

後日、全六七作品を掲載し



2012年度 青少年委員会 委員長 丸山 正紀

委員長所感

丸山 正紀

昨今、物が豊かになって問題になるのは人間関係の薄さであります。周りをみてもニユースをみても親と子の関係が崩れた問題が目立ち、大変憤りを感じました。そこで微力ですが身近なところから、親子が笑顔あふれる関係を築いてもらう場所をと思いこの企画を思いました。ただの写生会では、この関係を築く事はできないと考え、子どもは動物を描き、そして親が子どもの描いている姿、似顔絵を描くことで普段にはない時間が生まれると考えました。写生会を終え、賞を受賞された親からの挨拶で「普段、なかなか親子で絵を描く時間がない」とコメントを頂き、よい関係をつくるお手伝いが少しできたのかと思っております。ありがとうございます。



共和小学校1年生 信里小学校5年生 真島小学校4年生

